

ウクライナの子どもたちに食料と医薬品を！  
**ユニセフ緊急募金上映会**

戦争で引き裂かれた男と女の悲しい愛の物語が、再びスクリーンに



*I Girasoli*

# ひまわり

50周年HDレストア版

出演：ソフィア・ローレン マルチェロ・マストロヤニ リドミラ・サベリエフ

監督：ヴィットリオ・デ・シーカ 制作：カルロ・ボンティ 撮影：ジュゼッペ・ロタンノ 音楽：ヘンリー・マンシーニ 1970年/イタリア/1 GIRASOLI/ヒスタサイズ/107分/モノラル2.0ch 配給：アンブラド



日本人が愛した、映画史に残る永遠の名作。  
最新のデジタル技術で修復されてあざやかに蘇る。



**見** 渡す限りに広がった一面のひまわり畑。ソフィア・ローレン、マルチェロ・マストロヤニの競演、ヘンリー・マンシーニの甘く切ないテーマ曲に彩られた本作は1970年の洋画興行ランキング5位を記録しイタリア映画としては異例のヒットに。以来何度も劇場公開され、そのたびに映画ファンの心をつかんできた。

**第** 二次世界大戦下、陽気なアントニオ(マストロヤニ)と結婚したナポリ女のジョバンナ(ローレン)は、夫を戦争に行かせないために狂言芝居までするが、アントニオは地獄のソ連戦線に送られてしまう。終戦後も戻らない夫を探すために、ジョバンナはソ連に向かい夫の足跡を追う。しかし、広大なひまわり畑の果てに待っていたのは、美しいロシア娘と結婚し、子供に恵まれた幸せなアントニオの姿だった。



**カ** ンヌ映画祭パルムドール、アカデミー賞<sup>※</sup>外国語映画賞などに輝く世界的巨匠ヴィットリオ・デ・シーカ監督による、涙あふれる悲しい愛の名作が、公開から50年の時を経てHDレストア版として復活。広大なひまわり畑はウクライナの首都キエフから南へ500キロほど行ったヘルソン州で撮影された。東西冷戦当時にヨーロッパの国がソ連で映画撮影をすることは珍しく、当時のソ連の最新の設備が登場し、積極的に映画撮影に協力した政治的背景も興味深い。

『ひまわり』は日本はもとより、イタリア本国でもオリジナルネガが消失しておりポジフィルムしか存在しない。そのため日本でポジから変換したHDマスターに修復を加えた。最新技術を駆使し、映像に関しては画面上の傷を除去して、明るさや色の揺らぎなどの症状を改善。音響に関しては、モノラル作品でありながら、周波数ごとに音を拾い出し、最新のノイズリダクション技術で雑音を除去。オリジナルに近い仕上がりになった。現時点で世界最高のクオリティでスクリーンに帰ってくる。



⇒ 入場売上の利益分を、ウクライナの子どもたちへの食料と医薬品の支援募金として、日本ユニセフ協会の緊急募金に寄付させていただきます。(結果は映画センターホームページで報告します)



**ウクライナ支援緊急募金協力上映会**

※コロナ感染防止のため、マスクの着用と、入場口での検温・手の消毒にご協力をお願いいたします。

日時/ 2022年 8月27日(土) ①10:00~11:50 ②2:00~3:50 (定員/各回450席(前売・予約420席/当日30席))

会場/ 多賀市民会館ホール 入場料金/ 前売・予約 1,000円 (当日¥1,300)

◆プレイガイド/ 日立市民会館・多賀市民会館・日立シビックセンター・ゆうゆう十王Jホール ◆電話予約先/ (予約受付期間7月15日~8月26日) ☎090-1209-1776(青田)、☎080-2565-3612(小野)、☎029-226-3156(茨城映画センター/平日10時~5時)

◆後援/ 日立市、日立市教育委員会、日立市社会福祉協議会、(公財)日立市民科学文化財団

◆協力/ 茨城県ユニセフ協会 ◆主催/ 映画「ひまわり」日立上映実行委員会 ◆提供/ 茨城映画センター